

●● 校訓 (より正しく・より豊かに・よりたくましく) ●●

令和8年度 帯広市立帯広小学校 学校便り

帯小の窓

開校 130 年の歴史と伝統の上に立つ これまでも これからも

NO. 16 令和8年8月28日 発行 校長 黒島 俊一

～ 新・学校教育目標 ～
夢をもち みんなで高め合い
未来をひらく 帯小っ子

- おおきな心で
- びしっと学び
- ひろがる仲間と
- しっかり行う
- よい笑顔の
- うきうき帯小っ子

(令和8年4月1日制定)



「歳月人を待たず」 2学期スタートにあたり

31日間の長い夏休みが終わり、2学期が始まりました。初日朝から見守りに立った登校時の様子は、大変な豪雨で、たくさんの荷物を持って濡れそうになりながらも頑張って歩く子供、笑顔いっぱい久しぶりに「おはようございます」と挨拶を交わしてくる子供、駆け寄ってきて「上靴忘れたんだけど、どうしたらいい?」と不安げに尋ねてくる子供、様々な気持ちで久しぶりの朝に出会うたくさんの子供たちの姿にほっとしながら、大きな事故にあうこともなく、体調を崩すこともなく、元気に登校してくれたことを何よりもうれしく感じています。ご家庭でのご協力に感謝申し上げます。

今年の夏、帯広では熱中症警戒アラートが発令されるまでの暑さにはならなかったものの、すっきりした晴れの日が少なく、高温多湿の気候が続きました。また全国的には熊本の大地震、千葉の集中豪雨による甚大な自然災害で命を落とす方も少なくなく、大変な夏だったとも感じます。

さて2学期は1年間で一番長い授業日数(82日)でたくさんの行事等が控えています。9月には教育研究発表会、10月には開校130周年記念式典(事業)、11月には学習発表会と、気が付けば12月で2学期の終業式です。夏から秋を経て、冬になる3季節をまたぐ2学期。

この中でも、特に今年は本校の開校130周年をお祝いする行事が行われ、10月17日(土)の記念式典のほか、帯広小先輩のお笑い芸人が来校してのステージや、熱気球体験なども予定され、それらに向けた様々な取組も予定されています。教室での日々の学習の積み重ねと合わせて、一つ一つの取組の中で、子供たち一人一人が確実に成長していけるよう、躍動する子供たちであられる学校づくりを進めて参ります。

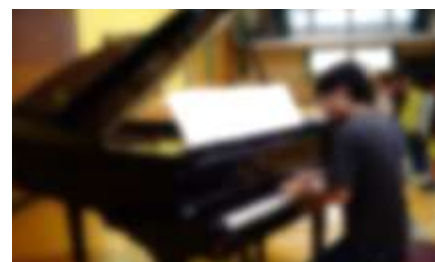
過日の2学期始業式では、表題の「歳月人を待たず」という言葉を話しました。

夏休み31日間はみんなに同じく流れてきたことをとらまえ、過ぎた時間は後悔しても元に戻らないこと、だからみんな仲良く、毎日を大切に過ごしてほしいこと、そして何か困ったことがあったら何でも相談してほしいことを伝えました。毎日の生活、様々な行事を経て、お子さん自身が「がんばったな」「よくやったな」と思える2学期に向け、どうぞよろしくお願い申し上げます。

児童詩誌「サイロ」入選
元気でね



新学期を迎えた、ワックスでピカピカの廊下。渡辺校務員はワックスがけ名人です。(写真中) 全校合唱「大きな木の下」の6年武藤さんの伴奏から。(写真下) 演奏力の素晴らしさもさることながら、弾いている姿が美しいのです。



1学期末で転校した4年生の長尾稟和さんの詩が、引越前日に「サイロ」8月号に入選した知らせを受け、急遽校長室で表彰しました。お友達への思いを切々としたためた詩は、胸にくるものがあります。

新しい学校でもまた元気に頑張ってくれることを願っています。元気でね。



速報! 第43回花壇コンクール 最優秀賞受賞(3年連続受賞) 8月28日表彰式
学校支援Co. 畠山さんの尽力で、開校130周年の年に花を添える受賞です。2学期幸先良い嬉しいニュースです。



今年も盛り上がった 夏休みはなおびキッズパラダイス

コミュニティ・スクール主催の「夏休み はなおびキッズパラダイス」は、今年も盛況に開催されました。

①炊飯器で簡単 彩り炊き込みご飯とデザートづくり（講師 つがやす 信子 氏） ②みんなで学習会&水でっぽう遊び（講師 柏葉高校ボランティアの生徒さん）

の二本立ては、料理で知恵を使った工夫をして、夏休みの課題を中心にがっちり取り組んで、勉強を覚えてくれた柏葉生と一緒に遊ぶのになって、水でっぽうでの水遊びを思いっきり楽しみました。（柏葉生に帯小卒業生の姿も）

頭をたくさん使った後には楽しく遊ぶ、このバランスのよい取組に、引率で来られていた柏葉高校の伊藤先生から、お褒めの言葉も頂いたところです。

CSコーディネーター畠山さんをはじめ、お手伝いいただきましたボランティアのみなさんには感謝申し上げます。

加えて、翔陽中学校ではエリアの小学校の子供たちとともに、生花体験や学習、理科実験教室が開催され、本校からも親子で足を運ばれて楽しまれている様子も見られました。夏の素敵な思い出の1ページができました。



(7)

(第三種郵便物認可)

帯広小 プレ教育実践発表会

個と集団の学び追求

学校力向上の実践 理科、体育公開



【帯広発】前年度から道教委による学校力向上に関する総合実践事業の指定を受けている帯広市立帯広小学校（黒島俊一校長）は7月中旬、同校でプレ教育実践発表会を開いた。校内の組織改革の授業改革3意識

教育関係者ら約30人が参加し、学校力向上と学習意欲の涵養、学校改革、個の追求と集団の追求、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実をテーマに理科、体育の授業を公開した。

同校は、事業の推進に当たって、小学校における教科担任制の導入や関係機関との連携等、指導体制の工夫を重点テーマに掲げ、組織改革の授業改革3意識

「改革」の3本柱のうちの1つ、授業の授業改革を推進した。また、「目」をみづめる場面、工夫、「学び」の多様性・決定する場面、「なるほど」でもがける場面、研究の柱に据え、専科指導と教科担任制における教科指導の役割の向上に取組んでいた。

9月に開催予定する教育実践発表会に先んじて、専科指導の先駆的な実践（理科・算数専科）が3年生理科「風とゴムの力」の「風」の力を使う、「ゴム」の力を使う、「風とゴムの力を使う」3つの力を使う「なりつら」の授業を公開した。

このうち、佐藤教諭の授業では、本時の目標を「デパートをめぐり、うまくいった理由やうまくいかなかった理由を考え、どうすればうまくいくかについて話し合える」と設定。これまでの授業で風の強さやゴムの引きしろによって対象物の動く距離が変わることを実験し、記録をとり、その結果を比較し、どうすればいいかという課題を提示した。

児童は前時までに授業支援ソフト「オクリン」を活用し、積み重ねてきた学習の記録を参考にしながら、それぞれのチームを決めて、「風」の力を使う、「ゴム」の力を使う、「風とゴムの力を使う」3つの力を使う「なりつら」の授業を公開した。

この中で、これまでの実験結果を生かしながら、プランを決めたことが学習意欲の向上につながっていると感じた。「個々の考えが実験に反映される教材でとても良いと感じた」（専科）によって担任の先生の負担軽減につながっているのが良いと感じた。なごやかな意見が上がった。

ンことにグループに分かれ、試走なしの1発勝負で実験に挑戦した。実験後は、実験の成功失敗に至った理由をグループごとに考えたり、びったりするための条件を整理したりするなど、どうすればびたりするかなについて相談を繰り返していた。

公開授業後の研究協議では、「パドレット」を用いて、校内研究の3本柱のほか、理科に関する教科指導について協議した。

7月14日プレ教育実践発表会記事から（8月6日付 北海道通信）
学校力向上指定事業で行った本校の授業研究会が記事になりました。引き続き専科指導の充実も含めた授業改善で、楽しく分かる授業で様々な教育成果を上げて参ります。この後9月18日（金）には開校130周年記念第34回教育研究発表会を開催。全学級が授業公開します。

帯広小今日のきらきらさん

(写真左) 第20回文協杯
北海道ジュニアラグビー選手権大会 小学生低学年の部
優勝 帯広ラグビースクール 1年 下山 真司 さん
1年生で勝ち抜いた「優勝」は素晴らしい。ラグーマンの活躍に期待大です。

(写真右) 公益団法人全国珠算教育連盟
暗算検定試験3級合格 珠算検定試験 2級合格
5年 有川 綺奈 さん
短期間で3級から2級への昇級合格とは素晴らしい努力です。



ようこそ先輩 本校卒業の教育実習生を迎えています

本校の卒業生で、現在北海道教育大学釧路校3年の八十嶋陽輔（やそじま ようすけ）さん(写真右)が、2学期始業式の8月25日から9月24日まで教育実習を行います。4年1組での実習を中心に、全校職員からの指導を受け、全校児童とふれあひながら実習生活を送ります。本人からのごあいさつです。

この度教育実習として受け入れていただいた教育大学釧路校の八十嶋陽輔と申します。将来、小学校の教師になるという夢に向かって、この実習では子どもたちとの関わり方や指導に必要な知識をしっかりと学びたいと思います。一日一日を大切に、一生懸命取り組んでいきますので、約四週間の実習の間、どうぞよろしくお願いいたします。

